

屋内消火栓競技要領

1 編成及び使用器具

- (1) 編成は、2名をもって1組とする。
- (2) 服装は、ヘルメットに自衛消防隊の制服又は長袖トレーニングウェア上下とし、靴は、運動靴又は作業靴とする。
- (3) 出場者は、チーム（事業所）名を明示したゼッケン（縦20cm×横30cm）を胸と背中につけること。（チームで準備する。）
- (4) 使用器具は、筒先1本（口径13mm）、ホース2本（径40mm、1本の長さ15m以上）とする。ホースは、出場チームで準備し、筒先は、防火安全協会事務局で準備する。

2 準備

- (1) 出場チームは、最初のチームを除いて、前出場チームが競技を終了するまでに、自主的にコースに至り、消火栓ボックスにホース、筒先を収納する。
- (2) ホース収納後、集合線に整列し自主整頓の後、待機する。
- (3) 進行係は、出場チームをマイク放送により紹介する。
- (4) マイク放送の後、指揮者は受礼者の前方5mに至り、敬礼を行い、開始報告をし、再び敬礼後、元の位置に復す。（受礼位置は、コース図参照。）
- (5) 開始報告は、「〇〇会社自衛消防隊、ただ今から屋内消火栓操作を行います。」とする。

3 操作要領

(1) 操作開始

- ア 指揮者は、指揮者審査員（以下**指**審査員）の笛の合図で「**操作始め**」と号令する。
- イ 隊員は、「よし」と合図し、操作を開始する。

(2) 指揮者

- ア 直ちにコースを通過して進入線を越した地点（両足が火点側に入ること。）で、火点を指差し、「**事務所が火事だ。**」と叫び、消火栓ボックスに至る。
- イ 火災報知器の発信器を押し、「よし」と呼唱する。
- ウ 続いてボックスの扉を開き「よし」と呼唱し、ホースを取り出し筒先を持ち、火点に向かってホースを延長、放水線の内側で筒先を構え、「**放水始め**」と号令する。

(3) 隊員

- ア 直ちにコースを通過して電話位置に至り、指揮者の「事務所が火事だ。」を確認し、「**事務所が火事だ。**」と復唱した後、119番通報を行う。

<119番通報要領>

- 119番受信者の「はい、消防です。」を確認した後、「**火事です。〇区〇〇町〇丁目（〇区〇〇町〇〇〇番地）、〇〇会社の事務所が火事です。**」と伝える。（出火場所は、出場チームの所在地・会社名とする。）
- イ 受信者の「了解」で受話器を置く。
- ウ 通報後、指揮者の延長したホースのよじれを必要により直しながら、消火栓ボックスに進む。

エ 指揮者の「放水始め」の号令を待って、「放水始め」と復唱した後、起動ボタンを押し「よし」と呼唱、続いて開閉バルブを全開し「よし」と呼唱する。

オ ホースの修正を行いながらコースを進み、放水補助位置に至り、補助について「よし」と合図する。

4 放水要領

- (1) 放水は、基本注水により前方の標的への放水とする。
- (2) 第1標的は、放水線前方9mの位置にある貯水タンクとし、放水で水を貯めボールを落とす。
第2標的は、第1標的の左側高さ1.3m～2.1mの位置にある直径50cmの火点標的とし、放水圧力で火点標的を後方に倒す。
第3標的は、第1標的の右側の位置にあるボールとし、放水圧力でボールを落とす。
- (3) 指揮者は、第1標的のボールが落ちるのを確認後、直ちに「左注水」と号令する。
- (4) 隊員は、指揮者の「左注水」の号令を受けて、「左注水」と復唱し、指揮者と協力して注水変換、左側第2標的の火点標的に放水し、放水圧力で火点標的を倒す。
- (5) 指揮者は、第2標的の火点標的が後方に倒れるのを確認後、直ちに「右注水」と号令し、右側第3標的に注水変換する。
- (6) 隊員は、指揮者の「右注水」により「右注水」と復唱し、指揮者の第3標的への注水を補助し、共同して放水圧力で第3標的のボールを落とす。
- (7) 指揮者は、第3標的のボールが落ちるのを確認後、直ちに「放水止め」と号令し、放水先を他の方向に向ける。
- (8) 隊員は、「よし」と合図し消火栓ボックスに至り、開閉バルブを閉めて「よし」と呼唱し、放水補助位置に復し、基本の姿勢で「放水停止」と伝達する。
- (9) 指揮者は隊員の伝達を受けて「よし」と合図し、補助員に筒先及びホースを受け渡した後、基本の姿勢をとる。

5 終了の要領

- (1) 指揮者は、**指**審査員の笛の合図を受けて「終了」と号令し、隊員は「よし」と合図し、回れ右をして隊員・指揮者の順でコースを戻り、集合位置に復し、自主整頓する。
- (2) ホースの撤収は、補助員が行う。

6 退 場

指審査員の笛の合図で、指揮者の「右向け一右」、「駆け足一進め」の号令により、隊員とともに退場する。

7 その他

- (1) 第1・第2・第3標的は、事務局が別途設定する。
- (2) コースは、白線で示し、コースを外れて走行してはいけない。
- (3) タイムの測定は、「操作始め」の「め」から、「放水止め」の「め」までとする。
- (4) タイム得点は、基準タイム（80秒）を基準に1秒につき2点を増減点する。
- (5) 同点の場合は、タイムの早い方を上位とする。同点・同タイムの場合は、上位同順位とする。（1秒未満の端数は切り捨てる。）
- (6) 競技要領に必要な部分は、消防訓練礼式を準用する。